

令和8年度つくば市予算編成方針

総務省が実施する「各年1月1日現在の住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」において、つくば市の人口増加率は、令和5年の「全国1位」に続き、令和7年は「市及び特別区で3位、特別区を除く市において全国1位」となりました。これは、つくば市での暮らしやすさが評価され「選ばれるまち」であることを示しています。

それに伴い税収も堅調な伸びを示しており、令和6年度決算では、前年度から3.7%、約19億円の増加となりました。一方で、税収の伸びを上回る人口増に伴う経費の伸びや人件費等の経常的な経費の増加により、財政の弾力性を示す経常収支比率は、前年度から4.0ポイント増の96.8%となり、財政の硬直化が進んでいます。その中で、『世界のあしたが見えるまち』を実現するためには、各事業の施策への貢献度を慎重に考慮していく必要があります。

令和7年度は、地域と連携した学校施設の在り方の検討、給食レストランを含む地域のコミュニティ拠点や児童発達支援センター、陸上競技場の整備、道の駅の整備検討、気候市民会議からの提言の実現に向けたロードマップの推進などを通して、たまり場や居場所となる拠点を市内全域に増やすとともに、もう少し先のつくばの未来を見据え、地域の特徴を活かしながら、つくばのまち全体の価値を高めるための施策を行ってきました。

令和8年度は、全ての世代に必要なインフラやサービスを着実に提供し続けていくため、「未来への持続可能な投資」をテーマに掲げ進めていきます。

具体的には、「高齢者等ごみ出し支援事業」「シェアサイクル事業」「休日夜間デジタル急患センター事業」「香取台小学校増築工事」など、市民の生活に直結した付加価値の高い事業を着実に進めるとともに、「青のカフェ事業の充実」「アフタースクール事業の拡充」など、未来を担う世代への投資をしっかりと行っていきます。また、「芸術文化創造拠点」などの新たな施設とともに、公共施設やインフラの整備・維持管理をし、未来につないでいきます。

更に、これらの事業を着実に実施していく財源や職員のリソースを確保するために、生成AI等の活用による業務の効率化を図りながら、より市民満足度を高める事業に資源を集中していきます。